

公共施設・庁舎跡利用についての地区意見交換会

【勝連地区】

日時	平成25年7月6日（土） 午後2時00分～午後4時00分
場所	勝連シビックセンター 2階 研修室
参加者	計 11名

会議の様子：



【第1部】 公共施設等のあり方について

意見概要

《文化施設について》

- 与那城民俗資料館の利用者が少ないのは、PR 不足が原因のひとつだと思う。

《体育施設について》

- サッカースタジアムをつくる場合は、複合施設として検討することが望ましい。
- 体育施設は、土日の大会だけではなく平日も人が集まるような工夫が必要である。

《防災施設について》

- 学校が廃校になり、避難所として使えなくなったことから、公共施設を防災施設として使うことを検討する必要がある。

《福祉施設について》

- 与勝地区には保健センターがないので、福祉関係の施設が必要だと思う。

《再編の考え方について》

- うるま市にはIT関連施設が点在していることから、集約した方が機能的にも優れてくると思う。
- 同じ機能の施設が多いので大きくゾーン分けをして、与勝地区はスポーツ文化ゾーン、石川地区は福祉、健康ゾーン、民族芸能ゾーンとして整理することが望ましい。

《施設の維持管理について》

- 公共施設の管理を一元化することで維持コストは変わってくると思う。

《その他》

- 与勝地域は非常に公共施設が少ない。
- 学校の統廃合や統合庁舎についても、住民の意見がほとんど活かされていない。
- 公共施設のあり方を考える上で、コミュニティバスについても検討する必要があると思う。

【第2部】 庁舎等跡利用について

意見概要

《跡利用の考え方》

- 各公民館で住民票が取れるような仕組みを設けることがよい。サービスを低下させないかたちで残すべきである。

《石川庁舎の跡利用》

- 体育館が近くにあることから、専門学校や短大等の学校施設として活用することが考えられる。

《与那城庁舎の跡利用》

- ホテルとしての立地条件は良いと思うが、周辺施設とのすみ分けをしっかりとしないといけない。
- 島しょ地域からは病院が遠いので、病院の誘致がよいと思う。

《勝連庁舎の跡利用》

- 耐用年数が17年残っていることから、住民の様々な意見を聞き、観光・歴史・文化の拠点となる施設が考えられる。
- 民間企業を誘致することで税収が上がり、住民の雇用にもつながると思う。
- 図書館や中庭があるので、保育機能として活用することが考えられる。
- 文化施設として活用し、ここから様々な文化を発信させるという位置づけも検討することが望ましい。

《学校の跡利用》

- 島しょ地域でしかできないような自然体験施設等を検討することが望ましい。
- 旧比嘉小学校について、借地は、早めに、買い上げをするのか、長期賃貸の契約をするか決めないと跡利用計画はうまくいかないと思う。